

社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail 可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引きいたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町 4342 (〒 194-0298) F. 042-783-2311

2008. 4. 1 ~ 2008. 4. 30 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)
 *印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

I 理論・一般

0. 総記

特集	大学は地域に生き残れるか	都市問題	99-2	08. 2
	悩み深い地方国立大学-山形大の挑戦 (中井浩一) 英語と外国籍教員とコンピューター (葉上太郎) 地方大学医学部の役割-地域医療のアウトカムを示せ (名郷直樹) 若者を育てる高大連携の構築 (根本雄一)			
	保育行政のミスマッチはなぜ起きるのか?	場の啓一	38	07.12
	いまあらためて、子どもの声を聴くということの意味 (インタビュー)	関西学院経済学研究		
	(田中孝彦・聞き手:朝岡晶子)		84	08. 3
	地域社会の変容と商店街の機能革新	福田 敦	234	08. 1
	地方都市再生の理論的検討	足立基浩	341	08. 1
特集	地域が元気になる観光	月刊自治研	581	08. 2
	地域資源を活かした地域づくり (井原満明) ネオ・ツーリズムの提唱 (佐藤 誠) フィルムコミッションによる地域活性化の可能性 (前澤哲爾) 温泉開発はまちづくりに活かされたか (石川理夫)			
特集	エネルギー	月刊社会民主	633	08. 2
	六ヶ所再処理をめぐる状況と運動の課題 (井上 浩) 脱原発の切り札「超大型洋上風力発電」(曾戸正明)			
	少子高齢化を考える (3)	原田康平	48-3	07.12
	子どもの育ちを守りながら安心して働ける子育て支援を (インタビュー)	産業経済研究 (久留米大)		
	(大日向雅美)	週刊社会保障	2469	08.2.18
特集	08年度政府予算の分析と課題	生活経済政策	549	08. 2
	格差拡大型財政健全化政策の一時中断 (町田俊彦) 地域格差拡大で迫られる地域再生対策 (兼村高文)			
特集	崩壊の危機に瀕する地方・都市の立て直し上	前衛	828	08. 3
	住民の視点からみた地域生活の条件と「地方再生戦略」(岡崎祐司) 福田内閣の「地方再生戦略」を問う (塩川鉄也) 都市再生政策は何をもたらしたか (高瀬康正)			
	「地域政策」から「地域発展政策」へ (1) (2)	穴見 明	16-2, 17-1	07.3,10
特集	ミュージアムによる地域活性化	地域開発	521	08. 2
	地域活性化におけるミュージアムへの期待と現実 (根本祐二) 「ミュージアム経営リテラシー」と市民参画 (村上 敬) 人文系博物館の再生と交流機能の強化 (端 信行) ミュージアムの社会へ向けたアウトリーチ (洪 恒夫)			
特集	「都市論」再考	地域開発	522	08. 3
	地球環境保全と都市経済 (佐無田光) 日本都市のコンパクトシティ化 (海道清信) 隙間に潜在するサステイナブルシティ論 (岡部明子) クリエイティブ・シティ再考 (後藤和子) コンパクトシティ (大西 隆)			
	*雇用における公平・公正	連合総合生活開発研究所	A4.247	08. 2
	*ネットカフェ難民と貧困ニッポン	水島宏明	B6.285 図版16	07.12

*リーディングス戦後日本の格差と不平等 3	白波瀬佐和子編著	日本図書センター	A5.517	08.2
*「日常的貧困」と社会的排除	宮坂順子	ミネルヴァ書房	A5.365	08.1
*フランスの学歴インフレと格差社会	マリー・デュリュ＝ペラ著	林昌宏訳 明石書店	B6.179	07.12
*兵役拒否の思想	市川ひろみ	明石書店	B6.272	07.12
1. ジェンダー・フェミニズム・女性論				
世帯生産と消費 (翻訳)	翻訳: 伊藤陽一	統計研究参考資料 (法政大)	98	08.1
米国におけるコーポレート・ガバナンスの歴史の変遷とジェンダー	野畑真理子	日本労働研究雑誌	571	08.特別号
*ドメスティック・バイオレンスとジェンダー	吉川真美子	世織書房	B6.1冊	07.7
*性的支配と歴史	宮地尚子編	大月書店	B6.338	08.2
2. 労働論				
「雇用の境界」に関する理論的考察	木村琢磨	経営経済 (大阪経済大)	43	07.12
社会資本の整備水準と労働移動	鈴木美和	研究年報経済学 (東北大)	69-1/2	07.12
A reappraisal of Marx's labour exchange theory in the light of the criticism of the neoclassical principle	Motohiro Okada	甲南経済学論集	48-2	07.9
労働分配率を上げる	伊藤 修	連合総研レポートDIO	224	08.2
*日本人は何のために働くのか	久保博司	ウェッジ	A6.220	07.12
*ノットワーキング	山住勝広, ユーリア・エンゲストローム編	新曜社	B6.1冊	08.2
3. 労使 (資) 関係論				
自動車産業労使関係研究の一回顧	富田義典	佐賀大学経済論集	40-4	07.11
6. 社会政策論				
「社会的経済」の可能性 (座談会) (粕谷信次 川上忠雄 山岡義典 佐藤慶 富沢賢治 柏井宏之 菅富美枝 竹田茂夫 増田寿男 司会: 原伸子)		経済志林 (法政大)	75-3	07.12
「自殺対策基本法」の施行と社会全体で取り組む自殺対策について	岡本洋子	社会関係研究 (熊本学園大)	13-1	07.11
7. 社会保障論				
特集 「貧困」「格差」の拡大と生きる権利		人権と部落問題	60-3	08.2
保育園の現場から見えてくるもの (久保田徹) 北九州市生活保護行政転換の条件 (吉永 純) 働く者の実態と流れかえる青年らのたたかい (寺間誠治) 「生きるなというならもっと生きてやる」 (森口藤子)				
8. 社会福祉論				
社会福祉法に基づく苦情解決制度に関する考察	見平 隆	名古屋学院大学論集 社会科学篇	44-3	08.1
Unraveling the world of welfare in Japan	Ogasawara Koichi	Social science Japan journal	10-2	07.10
地域福祉計画の横断的分析	入江啓彰	関西学院経済学研究	38	07.12
特集 社会福祉の行方をよむ		月刊福祉	91-2	08.2
07年社会福祉の回顧と展望 (蟻塚昌克) 子どもを取り巻く環境と児童福祉の方向性 (網野武博) 障害のある人を取り巻く課題と障害者福祉の行方 (坂本洋一) 地域福祉の現状と課題, 方向性 (上野加代子)				
高齢期のケア付き住宅に団塊世代が期待する条件	佐々木千晶, 今井幸充	厚生指標	55-1	08.1
介護福祉士養成教育の課題	水上幸代	社会関係研究 (熊本学園大)	13-1	07.11
10. 労働科学, 人間工学				
Biomechanical and physiological analyses of a luggage-pulling task	Myung-Chul Jung · Joel M.Haight · M.Susan Hallbeck	Industrial Health	45-6	07.12
Self rated health and working conditions of small-scale enterprisers in Sweden	Kristina Gunnarsson · Eva Vingard · Malin Josephson	Industrial Health	45-6	07.12
Work environment and mental health status assessed by the general health questionnaire in female Japanese doctors	Yuko Hayasaka · Kazutoshi Nakamura · Masaharu Yamamoto · Shigeru Sasaki	Industrial Health	45-6	07.12
Gait muscle activity during walking on an inclined icy surface	Chuansi Gao · Juha Oksa · Hannu Rintamaki · Ingvar Holmer	Industrial Health	46-1	08.1

- Interventions to promote more effective balance recovery reactions in industrial settings
Brain E. Maki · Stephen D. Perry · Carol Y. Scovil · Amy L. Peters · Sandra M. McKay · Tracy A. Lee
Industrial Health 46-1 08. 1
- Research on slip resistance measurements In-ju Kim · Hisao Nagata Industrial Health 46-1 08. 1
- ‘Walking-mode maps’ based on slip/Non-slip Criteria
Takeshi Yamaguchi · Kazuo Hokkirigawa Industrial Health 46-1 08. 1
- 職場の迫害が従業員の職務行動および心理的・身体的側面に及ぼす影響
田中堅一郎 産業・組織心理学研究 21-2 08. 2
11. 職業教育・訓練論
- キャリア教育を支える中小企業 竹内英二 国民生活金融公庫調査月報 562 08. 2
- 高次脳機能障害者への職業訓練の一方法 近藤和弘, 若林耕司, 南雲直二, 平川政利
研究紀要(国立身体障害者リハビリテーションセンター) 27 07.12
- 職業情報の入手と職業訓練の求職活動における効果 奥津真里 産業・組織心理学研究 21-1 07. 9
- *職業リハビリテーション学 松為信雄, 菊池恵美子編 協同医書出版社 A4.392 06.11
- II 労働問題
20. 総記
- On day laboring and homelessness in contemporary Japan
Tom Gill Social science Japan journal 10-2 07.10
- *就業不能 鳥越慎二 ダイヤモンド・ビジネス企画(発売:ダイヤモンド社) B6.211 07.12
- *日本一わかりやすい労働ニュースの読み方 北見昌朗 東洋経済新報社 A5.252 07.12
- *葬られるサラリーマン 藤井巖喜 ベストセラーズ B40.213 07.12
21. 雇用・労働市場
- 中国における雇用調整と再就職後の賃金の男女格差 馬欣欣 日本労働研究雑誌 571 08.特別号
22. 労働条件
- 日本の看護需給と働き甲斐(1) 安川文朗, 中田喜文, 宮崎悟 社会保険旬報 2343 08.2.21
23. 賃金問題
- 日本における男女間賃金格差 張純紅 桃山学院大学経済経営論集 49-3 07.11
24. 労働時間
- 特集 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて 電機連合NAV I 15 08.1/2
- 電機連合の労働時間短縮の取り組み経過と今後の課題(石本秀彦) 松下電器の在宅勤務制度(e-Work@Home)について(酒井 威) EU諸国の時間外労働(濱口桂一郎)
- 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現に向けて(インタビュー)
(樋口美雄・聞き手:定塚由美子) 厚生労働 63-2 08. 2
- 韓国における期間制(有期契約)・短時間労働者保護法の制定
崔碩桓 日本労働研究雑誌 571 08.特別号
- ワーク・ライフ・バランスの現状と課題 才川智広 ビジネス・レーパー・トレンド 395 08. 2
- ワーク・ライフ・バランスと雇用保障をいかに調和させるか
荒川創太 ビジネス・レーパー・トレンド 396 08. 3
25. ホワイトカラー労働
- 「ホワイトカラー・エグゼンプション」米国調査報告書 労働総研クォーターリー 68/69 08. 1
26. パート・派遣労働
- 改正パート労働法施行通達の解説 北岡大介 労働法学研究会報 2422 08.2. 1
27. 在宅・家内労働
- 家内労働法の問題点と在宅ワーク 高野 剛 奈良産業大学産業と経済 22-1 07. 3
29. 児童労働
- *ガールズファイル 柴崎友香 マガジンハウス B6.189 07.11
- *わたし8歳, カカオ畑で働きつづけて。 岩附由香, 白木朋子, 水寄僚子 合同出版 A5.174 07.11

30. 若年労働			
特集	フリーターとニートの社会調査 調査から見える若年層の職業実態	社会情報 (札幌学院大)	17-1 07.12
	ジェンダーから見る若者の職業生活・家庭生活 (村上あかね) 若年者の労働観とキャリア教育政策 (亀山俊朗)		
	青森県における若年者の就業実態とその問題点	李永俊 弘前大学経済研究	30 07.12
	*だから若手が辞めていく	ダイヤモンド社	B6.206 07.9
31. 中高年労働			
特集	事例から展望する将来の高齢者雇用	エルダー	30-2 08.2
	失敗を恐れない技術強化策 (田中丈夫) エイジフリー企業に向けての課題 (北浦正行)		
32. 障害者労働			
	日本における障害を理由とする雇用差別禁止法制定の可能性	長谷川珠子 日本労働研究雑誌	571 08.特別号
35. 労災, 職業病, 健康問題			
	Historical development of the journal impact factor and its relevance for occupational health	Derek R.Smith Industrial Health	45-6 07.12
	The effects of noise on hearing and oxidative stress in textile workers	Ihhami Yildirim · Metin Kilinc · Erdogan Okur · Fatma Inanc Tolun · M.Akif Kilic	Industrial Health 45-6 07.12
	Modelling gait processes as a combination of sensory-motor and cognitive controls in an attempt to describe accidents on the level in occupational situations	Alexandrine Sicre · Sylvie Leclercq · Clarisse Gaudez · Gabriel M.Gauthier	Industrial Health 46-1 08.1
	女性医師過酷勤務に疲弊し自殺	ひろばユニオン編集部 ひろばユニオン	552 08.2
	特集 「働きすぎ」を見直そう	まなぶ	604 08.2
	“自分優先”を捨て、人と人が手を結ぶことが大事 (インタビュー) (荒井千暁)		
	労災職業病裁判と労働者の人権の闘い (講演)	岡村親宜 労働と医学	96 08.1
	*過重労働と健康管理	木村大樹 中央労働災害防止協会	B5.151 07.12
37. 勤労者意識			
	就業形態の多様化と企業内労働市場の変容	西村孝史 日本労働研究雑誌	571 08.特別号

III 労働運動

41. 労働組合・運動論			
	本格的転換の年に (座談会) (五十嵐仁 坂内三夫 大門実紀史)	経済	150 08.3
	特集 労働組合運動活性化の日米比較	国府台経済研究 (千葉商科大)	18-3 07.3
	地域労働運動の日米比較 (鈴木 玲) アメリカの労働組合の変遷と再活性化に向けた新しい取り組み (朝比奈剛) 現代自動車労働組合の産別労組への転換が意味するもの (金元重)		
	職場レベルにおける労働組合の参加的関与	願興寺皓之 日本労働研究雑誌	571 08.特別号
46. 賃金闘争 (含 生活改善闘争)			
	労働戦線再編から二十年 - 〇八春闘の構図	滝野 忠 科学的社会主義	118 08.2
	特集 続・労働者運動と08年春闘	科学的社会主義	119 08.3
	自治体労働者攻撃の特徴 (山崎秀一) NTT「構造改革」合理化と立ち上がる労働者 (NTT関連労働組合協議会) 二〇〇八年 女性労働者のいま, そしてこれから		
	日本型雇用システムの新展開 (座談会)	(草刈隆郎 氏家純一 鈴木正一郎 市野紀生 司会: 紀陸孝)	経済Trend 56-2 08.2
	特集 〇八春季生活闘争	社会主義	548 08.2
	「格差社会是正」を求める連合春闘方針 (善明建一) 「横並び」賃上げ拒否と企業内決定の強調 (松永裕方)		
	二〇〇八年春季労使交渉に臨む経営側の考え方, 具体策 (講苑) (田中恒行) 中央労働時報		1082 08.2

- 特集 08春闘 産別方針 ひろばユニオン 552 08.2
 UIゼンセン同盟 要求2500円基準「昨年以上」の獲得を(島田尚信) 自動車総連1000円以上賃金改善の流れを強く(萩原克彦) 電機連合要求2000円以上職場と社会の期待(泉田和洋)
54. 労働者福祉・協同組合運動
- 生活クラブ生協北海道における社会運動の成果と連帯のゆくえ
 西城戸誠 大原社会問題研究所雑誌 592 08.3
- IV 経営労務
60. 総記
- 生産拠点の国際移動 上野皓司 経済理論(和歌山大) 341 08.1
 「3つの過剰」はいかにして解消されたのか? 川本真哉 甲南経済学論集 48-2 07.9
 従業員持株制度と種類株式等 松山三和子 法律論叢(明治大) 80-2/3 08.2
 *トヨタウェイと人事管理・労使関係 猿田正機 税務経理協会 A5.1冊 07.12
 *基礎研究者の職務関与と人的資源管理 義村敦子 慶応義塾大学出版会 A5.217 07.7
61. 人事・労務管理
- 評価制度の構築と運用のポイント 寺崎文勝 関西経協 62-2 08.2
 変化する経営と人的資源管理と評価制度 今野浩一郎 関西経協 62-2 08.2
 特集 5年後の人材開発部門の重要課題 企業と人材 918 08.2.5
 人が成長する組織づくりのために従来型リーダーシップからスポンサーシップへ(柴田昌治) マネジメント層へのOJTと研修オンライン化が未来に向けた人材開発のキーワード(高橋 潔)
 戦後型学歴身分制から能力主義的人事処遇制度へ 鈴木 誠 日本労働研究雑誌 572 08.2/3
 *職場の人間関係づくりトレーニング 星野欣生 金子書房 B5.148 07.12
 *「勝ち組企業」の就業規則 下田直人 P H P 研究所 B40.203 08.2
66. 教育・訓練
- アジアに事業拠点を広げる日本企業の人材育成の課題 鈴木俊男 産業訓練 629 08.2
 特集 コーチング再考 人材教育 230 08.2
 コーチ型マネジャーが育成する自立型社員が企業成長の鍵を握る(森川里美) 縦から横のコーチングヘナラティブ・コーチングの可能性(加藤雅則)
 特集 キャリアの再構築を支援する ミッド・キャリア層を中心に
 ビジネス・レーパー・トレンド 396 08.3
 キャリアガイダンスとはなにか?(梶野 潤) ミッド・キャリア層の働き方とガイダンス(報告)(松本純平) 現場からの報告とパネルディスカッション(小林智明 吉澤幸子 狩野賢 コーディネーター:山山晴美)
- 現代中国自動車企業における人材育成の転換 唐 伶 桃山学院大学経済経営論集 49-3 07.11
 *デキる人は皆やっている一流のキャリアメイク術 保田隆明 明日香出版社 B6.230 07.12
68. 安全衛生管理
- 化学物質管理に関する国内外の動向と日本企業の対応 田中和明 安全と健康 59-2 08.2
 海外勤務者の健康管理(講演) (濱田篤郎) 安全と健康 59-2 08.2月別冊
 阪神・淡路大震災から12年(講演) (河田恵昭) 安全と健康 59-2 08.2月別冊
 労働安全衛生行政の動向(講演) (鶴田憲一) 安全と健康 59-2 08.2月別冊
 特集 医療現場の暴言・暴力 労働の科学 63-3 08.3
 諸外国での対策と国内の今後の課題(和田耕治) 医療現場の暴力と解決への道(飯田英男) 調査研究からみた医療現場での暴力(三木明子)

V 労働・社会政策

71. 雇用・労働市場政策
- 特集 雇用システムの変化と労働法の再編 日本労働研究雑誌 571 08.特別号
 労働立法プロセスと三者構成原則(濱口桂一郎) 逸脱?それとも変容?(中村圭介) 経済学から見た労働市場の二極化と政府の役割(パネルディスカッション)(樋口美雄)

76. 社会保障政策

Toward maintaining and improving the quality of long-term care

	Hotta Satoko	Social science Japan journa	110-2	07.10
要介護高齢者と障害者領域の現金給付制度	宮崎理枝	大原社会問題研究所雑誌	592	08.3
地域包括支援センターと介護予防(対談)(若林久美子 田中甲子)		介護保険情報	8-11	08.2
居住費・食費の負担の見直しによる介護保険3施設への影響	林原好美, 田宮菜奈子, 高橋秀人, 柏木聖代, 大久保一郎	厚生指標	55-2	08.2
子育てネットワークと行政との関係に関する研究	中谷奈津子, 橋本真紀, 西村真実	厚生指標	55-2	08.2
三重県東紀州医療圏南部における救急医療の機能分担の現状	岩城孝明, 尾島俊之, 中村好一	厚生指標	55-2	08.2
社会保障の給付と負担の選択肢に関する試算について	山口正行	社会保険旬報	2340	08.1.21
「医療崩壊」の危機に直面して(上)(中)	水野 肇	社会保険旬報	2342,2343	08.2.11,21
「全民医療保障」への険しい道(中)	王文亮	週刊社会保障	2466	08.1.28
基礎年金の全額消費税化の問題点	坂口正之	週刊社会保障	2468	08.2.11
米国から学ぶ質保証と支払い方式に関する考察	真野俊樹	週刊社会保障	2469	08.2.18
中国社会保障改革の新たな転換点	沈 潔	週刊社会保障	2470	08.2.25
負担と給付の共通認識示し国民的議論に資する会議に(インタビュー)	(吉川 洋)	週刊社会保障	2470	08.2.25
「全民医療保障」への険しい道(下)	王文亮	週刊社会保障	2467	08.2.4
非正規労働者の公的年金適用問題と被用者年金の一元化問題	丸山 桂	成蹊大学経済学部論集	38-1	07.10
特集 社会保障制度の活用と行政の助言・教示	賃金と社会保障	1457/1458	08.1月合併号	
社会保障法における行政の助言・教示義務(木下秀雄) 大阪高等裁判所の和解勧告に応じ、兵庫県尼崎市が、重度心身障害者(児)介護手当支給事業について、市民に的確に理解され広く周知されるため工夫して広報活動を手厚く行うこと、受給資格に該当する市民に対し手厚く説明を行うこと、職員に対する研修を行うこと等を約束する訴訟上の和解が成立した事例(山本訴訟)(阪田健夫) 法律を「かざり」にはしない(小久保哲郎)				
特集 生活保護基準の検討	賃金と社会保障	1459	08.2.上旬	
ナショナルミニマムとしての生活保護基準(吉永 純) 社会格差是正のための最低生活保障(布川日佐史)				
*1億人必携年金ハンドブック	長谷川陽子	新日本出版社	B6.157	08.2

77. 社会福祉政策

楽しく学び、育てていける介護現場づくり(座談会)(1)	(藤井千春 磯山侯子 司会:広瀬幸子)	介護人材Q&A	5-39	08.1
介護老人保健施設の人材育成を考える(座談会)	(瀬戸口みゆき 藤尾祐子 竹内孝仁)	介護人材Q&A	5-40	08.2
楽しく学び、育てていける介護現場づくり(座談会)(2)	(藤井千春 磯山侯子 司会:広瀬幸子)	介護人材Q&A	5-40	08.2
介護予防の基本と実際	竹内孝仁	協同の発見	186	08.1
高齢者介護施設における介護職員の離職発生モデルに関する検討	岡村 裕	杏林社会科学研究	23-3	07.12
特集 看取りと福祉		月刊福祉	91-3	08.3
ターミナルケアをいかに実践すべきか(鼎談)(宮下光令 櫻井紀子 司会:福田敬) リビング・ウイルと尊厳死(井形昭弘) 介護・福祉現場における看取りの現状と課題(中西三春) 利用者・家族の思いに添う看取りとは(本間郁)				
自立生活障害者の地域生活を支えるヘルパーに求められる障害者観	橋本真奈美	社会関係研究(熊本学園大)	13-1	07.11
地域包括支援センターの運営にみる困難事例への対応	井上信宏	信州大学経済学論集	57	08.1
特集 障害への理解は進んだか 共生社会に向けて		ノーマライゼーション	28-2	08.2
障害を理解するとはどういうことか(倉本智明) 知的障害者が職員として働く(峰 環) 立教大学における身体しょうがいしゃ(学生・教職員) 支援ネットワークの取り組み(立教大学身体しょうがいしゃ(学				

生・教職員)

78. 労働法
- | | | | | |
|--|-----------|------------------|-------|----------|
| 遺族年金における『配偶者』をめぐる課題 | 西田和弘 | 週刊社会保障 | 2467 | 08.2.4 |
| 雇用法制を巡って | 江口匡太, 神林龍 | 日本労働研究雑誌 | 572 | 08.2/3 |
| これが「逆転効果だ」(座談会)(小林正夫 細川律夫 司会:長谷川裕子) 連合 | | | 20-11 | 08.2 |
| 特集 グローバル下の労働と労働法の未来 | | 労働法律旬報 1663/1664 | | 08.1月合併号 |
| グローバル化と労働法覚書(田端博邦)日本の雇用問題とヨーロッパの雇用問題(鈴木宏昌) | | | | |
| ILOとディーセントワーク(長谷川真一)非正規雇用に対する連合の取組み(龍井葉二) | | | | |
79. 労働判例
- | | | | | |
|----------------------------|------|------------------|------|----------|
| 整理解雇判決が労働市場に与える影響 | 奥平寛子 | 日本労働研究雑誌 | 572 | 08.2/3 |
| メンタルヘルス休職者の職場復帰後の自殺と安全配慮義務 | 三柴丈典 | 労働法学会報 | 2423 | 08.2.15 |
| 合唱団所属のオペラ歌手に関する労働者性判断 | 小俣勝治 | 労働法律旬報 1663/1664 | | 08.1月合併号 |
| 高齢者切り捨て施策と配転命令の効力 | 近藤昭雄 | 労働法律旬報 1663/1664 | | 08.1月合併号 |
| 裁判官による公正な賃金の決定と国内の社会的経済的格差 | 大木正俊 | 労働法律旬報 1663/1664 | | 08.1月合併号 |

VI 世界労働

90. 総記
- | | | | | |
|--|--|-------|------|------|
| 特集 日本の社会・労働像を探る | | 世界の労働 | 58-1 | 08.1 |
| 労働契約法の意義と課題(藤川久昭) 少子・高齢化時代の年金制度の在り方(岡 伸一) 格差社会における雇用政策と生活保障(濱口桂一郎) 格差社会における教育の役割(本田由紀) | | | | |
91. アジア
- | | | | | |
|---|-------------------------|---------------|---------|--------|
| 特集 07年アジア研究学会 シンクタンクからアーカイブへ | | 大原社会問題研究所雑誌 | 591 | 08.2 |
| 大原社研アーカイブと社会史研究(クリストファー・ガータイス) 大原社会問題研究所と労働科学の誕生(中山いづみ) | | | | |
| 農村-都市間の労働力流動と中国の都市部における賃金格差(上)(下) | | | | |
| | 馬欣欣 | 大原社会問題研究所雑誌 | 591,592 | 08.2,3 |
| Human capital accumulation and income distribution in urban China | Jinjun Xue・Thomas Gries | 経済科学(名古屋大) | 55-3 | 07.12 |
| Migrants, employment discrimination and income inequality in urban China | Erbiao Dai | 経済科学(名古屋大) | 55-3 | 07.12 |
| International labour migration, remittances and income inequality in a developing country | Hettige Don Karunaratne | 経済志林(法政大) | 75-4 | 08.3 |
| 中国の地域間人口・労働力移動と市場ポテンシャル | 青木浩治 | 甲南経済学論集 | 48-2 | 07.9 |
| 計画経済期の中国における賃金制度の展開 | 突少杰 | 評論・社会科学(同志社大) | 83 | 07.11 |
93. ヨーロッパ
- | | | | | |
|----------|-------|-------|------|------|
| EUの最近の動き | 源河真規子 | 世界の労働 | 58-2 | 08.2 |
|----------|-------|-------|------|------|
99. ILO, 国際機関
- | | | | | |
|----------------------------------|--|----------|-------|------|
| 雇用促進のための活動(インタビュー)(山本幸子・聞き手:中村正) | | 世界の労働 | 58-2 | 08.2 |
| *すべての人に「ディーセント・ワーク」を | | ILO駐日事務所 | A4.27 | 07 |

VII 歴史

100. 総記
- | | | | | |
|--------------|------|---------|--------|------|
| *山田盛太郎 | 寺出道雄 | 日本経済評論社 | B6.226 | 08.1 |
| *近代製糸業の雇用と経営 | 榎 一江 | 吉川弘文館 | A5.1冊 | 08.3 |
101. 生活・労働史(日本)
- | | | | | |
|-------------------------|------|-------------|------|-------|
| 日本製造業の自主発展過程における技術革新の研究 | 李 毅 | 佐賀大学経済論集 | 40-4 | 07.11 |
| 日本人の労働観 勤勉の始原と終焉(上) | 武谷嘉之 | 奈良産業大学産業と経済 | 22-2 | 07.8 |

- 1950年代における現場管理組織の改革とフォアマン制度の導入 (1) (2)
 上田 修 桃山学院大学経済経営論集 49-2,3 07.9.11
- * シリーズ・花岡事件の人たち 中国人強制連行の記録 第1集 野添憲治 社会評論社 A5.366 07.12
102. 生活・労働史 (外国・国際) —————
 1970年代以降の韓国農業保護と農工間労働移動 陳仁煥 研究年報経済学 (東北大) 69-1/2 07.12
103. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (日本) —————
 社会運動としてのフェミニズムを再考する
 井上芳保, 伊藤奈緒, 北原みのり 社会情報 (札幌学院大) 17-1 07.12
105. 社会事業・慈善事業史 —————
 戦前期都市社会調査における調査活動と社会事業行政職員 杉本弘幸
 大原社会問題研究所雑誌 591 08.2
 「福祉相談」の視界に関する覚書 日根野建 評論・社会科学 (同志社大) 83 07.11
108. 労働運動史 (日本) —————
 村串仁三郎著『大正昭和期の鉱夫同職組合「友子」制度』をめぐって (座談会)
 (村串仁三郎 市原博 武田晴人 土井徹平 司会: 萩原進) 経済志林 (法政大) 75-4 08.3
110. 社会主義運動史 (日本) —————
 日本共産党「22年綱領草案」問題再考 黒川伊織 大原社会問題研究所雑誌 592 08.3
 特集 日本社会主義同盟 初期社会主義研究 20 08.2
 日本社会主義同盟あれこれ (大澤正道) 日本社会主義同盟と労働運動 (後藤彰信) 大庭柯公と日本社会主義同盟 (山領健二) 日本社会主義同盟の後のこと (山泉 進) 発掘・日本社会主義同盟名簿 (大和田茂)
 * 不屈 瀬長亀次郎日記 第1部 琉球新報社 B6.358 07.11
 * 『戦後日本共産党関係資料』収録資料目録
 戦後社会運動未公刊資料集刊行委員会編 不二出版 21x4.320 07.12
111. 社会主義運動史 (外国・国際) —————
 * スターリンと日本
 ロイ・メドヴェージェフ著 佐々木洋対談・評注 海野幸男訳 現代思潮新社 B6.258 07.12
112. 諸社会運動史 —————
 特集 グローバル化と日韓両国の市民運動 翰林日本学 12 07.12
 ソウルと東京の文化都市運動 (洪 性 泰) 再帰的近代における民主化運動の憂鬱 (樋口直人)
 * 京都・同和「裏」行政 村山祥栄 講談社 B40.203 08.1

【協調会史料】 法政大学大原社会問題研究所 監修／協調会研究会 (梅田俊英・高橋彦博・横関至) 編

■戦前・戦中の労働者、都市生活の実態が明らかに

『産業福利』復刻版 [第1回配本]

——付『災害予防ポスター集』

A4判上製 全7巻+別巻 総2,710頁 揃294,000円

産業福利協会が1926年に創刊し、以後発行主体を変えながらも19年間にわたり刊行された月刊誌を全3回配本で完全復刻。昭和初期から戦時にかけての労働災害および草創期の安全衛生運動の実態を継続的に把握でき、現代の労災問題への貴重な示唆を与えうる基礎史料。第1回配本は1927～33年の全号に加え、産業福利協会発行『災害予防ポスター集』(1929年)をオールカラーで復刻。

■大原社研が保管する膨大な協調会基幹史料を公開

日本社会労働運動資料集成I・II

(マイクロフィルム版)

- [I] 労働課・情報課保存版、1920～30年代
全114リール 揃2,730,000円
- [II] 1931～40年] 全62リール 揃1,575,000円

■歴史的価値の高い精密な生活実態調査の記録

都市・農村生活調査資料集成I・II

- [I] A5判上製 全12巻 総4,760頁 揃262,500円
- [II] A5判上製 全12巻 総6,080頁 揃262,500円

柏書房 〒113-0021 東京都文京区本駒込 1-13-14 TEL.03-3947-8251 FAX.03-3947-8255
<http://www.kashiwashobo.co.jp>

<価格税込>